

自動車整備業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
2	13~14	事業場整備工場内で被災者が作業中、工場内高所の物品（道具）を取るために脚立を使用し取り終え飛び降りた。降りた際両足で着地し、右足底部に痛みと違和感が生じ座り込んだまま立つ事が出来なくなっているところを事業場専務が発見し病院へ搬送し付き添った。	45	1 ～ 9
3	15~16	職場敷地内において、積載車に車を積み込みしたあとに、荷台から降りようとして積載車のあおりに足が引っかかってしまい、地面に着地した際に右足くるぶしをついた。	56	1 ～ 9
4	15～ 16	会社の工場で車（普通車）のドアパネルを钣金していて反動で骨折した。	36	1 ～ 9
5	9～ 10	トラックの荷台から修理を終えて脚立から下りる時に、足を踏み外して飛び下り、骨折した。	61	1 ～ 9
6	11～ 12	完成検査場にて、入庫車両をピット前にて、車台番号・エンジン型式を確認のため、エンジンカバーを外し、エンジンカバーを脇に置こうとした。エンジンカバーを持ち視界が不良状態であるにもかかわらず、ピットを跨ごうとして右足を踏み外し、ピットの縁に腰を強打し怪我を負った。	52	10 ～ 29
7	15~16	被災者は、当社工場において、車を破砕するため、ニグラ（車を破砕する重機）に乗ろうとした際、キャタピラーに足をかけた時に誤って踏み外し、右膝を捻り右膝の関節を負傷したものである。	49	50 ～ 99

7	10~11	営業所に事故車を引き取りに行き事故車をセーフティローダーに積んだ後、荷台から降りる時、右足で着地した際に大きくバランスをくずし転倒、負傷する。	57	30 ～ 49
7	9～ 10	板金工場内でサイドバンパーに足をかけて、車両の荷台に置いていた部品を取り降りようとした所、左足がすべってバランスをくずして足首をひねったような形で着地し、骨折した。	65	30 ～ 49
11	9～ 10	KP地点付近で作業中、工具を持って走っている時に誤って路肩に足を引っ掛けて左足首を捻り負傷した。そのまま夜まで仕事を続けたが、痛みと腫れが引かず翌日病院に行き骨折が判明した。	52	10 ～ 29
12	7~8	工場敷地内で、構内移動用自転車で移動中、自転車のチェーンが外れバランスを崩し、左側に転倒した際、地面（コンクリート）に左膝を強打した。	39	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html